



令和2年度 事業計画

社会福祉法人みどりの樹

社会福祉法人みどりの樹 令和2年度 事業計画

はじめに

人はとにかく自分勝手に自分が幸せになればいいと思いがちなものです。しかし私は、幸せは人と分かち合っ
てこそ、本当の幸せと呼べるものになるものと考えています。他が困っていれば自分のことのようにともに分か
ち合い、自分が困っているときに誰かに手を差し伸べてもらう。良いことだけでなく、イヤなこと分かち合
い、心を通わせ合うことが大切だと思います。また分かち合うことは、組織の連帯感そのものでもあります。

令和2年度は、ループ奏の本格稼働が始まり、相談支援事業の再編（エリア化）など当法人にとっても新たな
スタートを意識する事柄が多くある1年であります。職員が目標に向かって分かち合い、連帯感を強固なものとし、「みんなの幸せ」を実現できるよう邁進してまいります。（理事長 山下勝康）

基本理念 誰もが生き生きと暮す街に

障がいがあってもなくても誰もが生き生きと暮せる街づくりの一端を担う

行動指針 スマイル & ネバーギブアップ

- ・利用者の笑顔・お客様の笑顔が、私たちの元気の源です
- ・利用者主体の視点を大切にします
- ・質の高い商品をお客様に提供します
- ・何事にもあきらめずに取り組むことを約束します

基本方針 「議論力」と「実行力」を身につける（令和2年度スローガン）

職員一人ひとりが、主体的に「考え」、思ったこと考えたことを周囲に「伝え」、それを周りは肯定的に「受けとめ」、「議論」し、より良い方法を見出しみんなで「行動に移してみる」。この一連の流れを安心して積極
的に行えるような風土を築いていきます。それぞれ職員ごと、どの部分が得意なのか苦手なのか認識しあって、
前進の努力とチームとして支え合い、補い合い、PDCA サイクルで業務にあたっていけることを目指します。

重点取り組み① ITの積極的活用も含めた業務の効率化

業務の効率化に向けて、昨年度一部事業所で取り組んだ業務の棚卸を今年度は全所で実施していきます。また
棚卸実施後の検証も行い、事務量の削減等具体的な方策を提案していけるようにします。

特に、書類や手続きの簡素化、情報の共有方法などによる業務の効率化実現に向けては、棚卸から検証の中で
洗い出された課題のデータ化・ネットワーク化など IT を積極的に導入して推進していきます。

重点取り組み② リスクマネジメント体制の整備

昨年度から設置したコンプライアンス委員会にて、内部通報システムを稼働させていきます。各ハラスメント撲滅、事業所内での不適切対応の是正、虐待防止の実現のため機能させます。

同時に、事故やトラブル予防につなげるため、事故報告の在り方を再考します。様々な事象に対する視点の持ち方を見直し、法人内で共通認識にしていくよう事故報告書やヒヤリハット報告書の書式の変更も含め検討していきます。

重点取り組み③ 職員の資質向上

職員個々の目指す方向性の明確化やモチベーション形成のため、既存のキャリアパスの要件の見直し、キャリアパスの要件と人事考課での評価項目の連動、個別目標の設定と振り返りの必要性を重点的に周知し、常に意識できるようになることを目指します。そのうえで、それぞれの役割を認識して業務に当たれるよう階層ごとに内部で研修を実施していきます。

事業種類・定員

事業所名	種別	事業内容（事業名称）	定員	計
多機能事業所ループ	指定サービス	就労移行支援事業（ライム）	6	36
		就労継続支援 B 型（ライム・なないろカフェ）	20	
		自立訓練(生活訓練)事業（みかん）	10	
生活介護事業所ループ歩	指定サービス	生活介護事業（さつき）	18	30
		生活介護事業（まつぼっくり）	12	
多機能事業所ループ奏	指定サービス	生活介護事業（るるる）	10	20
		就労継続支援 B 型（ららら）	10	
本部拠点	指定サービス	放課後等デイサービス事業（あざみ）	10	
		特定相談支援事業（ぼるた）	—	
	浜松市地域生活支援事業（公益事業）	日中一時支援事業（あるば）	7	
		地域活動支援センター I 型 （はまきた地域活動支援センター）	(20)	
	派遣	浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター	—	

利用者数（計画値）

事業名	定員	R1 年度平均 利用者数（人/日）	R2 年度計画 利用者数（人/日）	R1→R2 対比	R2 年度 稼働率見込
就労移行支援	6	2.3	3.0	+0.7	50.0%
就労継続 B 型 （ライム・なないろカフェ）	20	22.9	23.0	+0.1	115.0%
自立訓練（生活訓練）	10	6.2	7.0	+0.8	70.0%
生活介護（さつき）	18	16.0	17.0	+1.0	94.4%
生活介護（まつぼっくり）	12	10.7	12.0	+1.3	100.0%
生活介護（るるる）	10	5.9	9.0	+3.1	90.0%
就労継続 B 型（ららら）	10	4.6	10.0	+5.4	100.0%
放課後等デイサービス	10	10.4	11.2	+0.8	112.0%
日中一時支援	7	3.4	5.0	+1.6	71.4%
地域活動支援センター	（20）	12.4	14.0	+1.6	—
特定相談	—	27.1	34.0	+6.9	—

※特定相談の数値は、月の平均件数

職員

	計	男	女	平均年齢
常勤職員	29 人	7 人	22 人	37.1 歳
非常勤職員	30 人	5 人	25 人	59.6 歳
計	59 人	12 人	47 人	48.3 歳

職員配置

		ループ	ループ 歩	ループ 奏	あざみ	あるば	特定 相談	はまきた 地活	相談 派遣	本部	合計
管理者		1	1		1		1				4
常勤	専従	7	6	4	3	0	2	1	1	0	24
	兼務	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1
非常勤	専従	6	9	4	6	1	1	1	0	0	28
	兼務	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2
常勤換算		12.3	8.9	6.4	5.6	1.5	2.8	2.1	1.0	1.0	42.6

資金収支予算規模

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	258,077 千円 (224,558 千円)	241,395 千円 (218,209 千円)	16,682 千円 (6,349 千円)
施設整備等による収支	0 千円 (66,000 千円)	11,918 千円 (75,829 千円)	△11,918 千円 (△9,829 千円)
その他の活動による収支	66 千円 (5,000 千円)	440 千円 (5,425 千円)	△374 千円 (△425 千円)
当期資金収支差額	—	—	4,110 千円 (△4,105 千円)

() 内は、令和 1 年度当初予算

施設整備、大規模修繕、固定資産整備計画

事業所名	種別	金額 (円)	詳細	財源
ループ	物品購入	800,000	ライム作業棟エアコン買い替え 3 台	自己資金 (年度内の助成金を視野)
本部拠点	修繕	1,500,000	あざみデッキ張り替え	自己資金
ループ歩	予定なし			
ループ奏	予定なし			

借入金償還計画

借入先	当期償還額	利息	利息補給	当期末残高	用途
福祉医療機構	6,072,000	795,553	0	80,454,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	3,816,000	684,000	684,000	29,560,000	
静岡銀行	2,030,000	360,000	0	63,970,000	ループ奏新築工事

生産活動

	種目	R2 年度売上目標 (円)	前年度対比 (%)	目標工賃（月額）
ループ	弁当（イベント販売含）	16,800,000	105%	・就労継続支援B型 25,000 円
	カフェ（喫茶・雑貨販売）	5,200,000	100%	
	下請け作業	5,000,000	104%	・就労移行支援 20,000 円
	計	27,000,000		
ループ歩	パン（まつぼっくり焼き菓子含）	6,640,000	111%	・さつき 4,500 円
	おからクッキー	1,300,000	100%	
	下請け作業	1,550,000	100%	
	樹脂粘土アクセサリー	10,000	100%	・まつぼっくり 13,500 円
	計	9,500,000	107%	
ループ奏	下請け作業	1,450,000	166%	・るるる 2,500 円
	天竜高校	4,050,000	289%	・ららら 15,000 円
	計	5,500,000	260%	

主要会議等

会議名	構成員	頻度／時期
理事会	理事、監事	5 月、11 月、3 月
評議員会	評議員、監事、理事長、業務執行理事	6 月、3 月
管理者会議	理事長、管理者	毎月 第 1 月曜
運営会議	理事長、管理者、主任	毎月 第 4 水曜
法人全体会議	理事長、常勤職員	6 月、11 月、3 月
職員会議	部門ごと、所属職員	部門ごとに設定
監事監査	監事、理事長、業務執行理事他	5 月、11 月
苦情解決委員会	業務執行理事、監事、コンプライアンス委員	年 1 ～ 2 回

委員会活動

委員会名	内容	担当管理者
防災委員会	・各所防災訓練の徹底、実施の主導 ・防災備品、マニュアルの管理・整備等	竹内こず江
研修委員会	・定期の夜間内部勉強会の企画・運営 ・法人合同内部研修会の企画・運営	加藤祐司
広報委員会	・みどりの樹つうしん（機関誌）の定期作成・発行 ・法人ホームページの定期更新等管理	海野洋一郎

コンプライアンス委員会	・職場のハラスメントや虐待通報の受付窓口 ・事故報告書、ヒヤリハット報告書の書式再検討	寺田志のぶ
製品品質向上委員会	・既存商品の商品力アップ ・新商品（自主製品）の開発	寺田志のぶ

職員研修計画

事例検討会	隔月 1 回	事例提供・ファシリテーター・記録者を持ち回りで、より多くの視点で考えたい実際の事例を参加者で共有、検討する
研修報告、自主企画	隔月 1 回	直近の外部研修参加者が、研修内容の報告と学びを発表する またはグループで自由な発想で勉強内容を企画提案する
階層別研修	年 1 回 ～ 4 回	初任者、中堅、主任、管理者それぞれの役割に基づいた階層ごとの研修を企画・実施する
法人全体内部研修	年 1 回	法人内職員が一堂に会し、支援の質の向上や、チームワーク強化に向けた研修を行う（NPO 法人あくしすとの合同で企画・実施予定）
外部研修・その他	適宜	県社協のスマイルブックの活用や、その他の外部研修の情報について、できる限り積極的に参画する。全常勤職員が 1 回以上、外部研修に参加するよう配慮する

地域における公益的な取り組みの推進 「みどりの樹 照個屋(てらこや)」の継続

地域の方々の特技や力を発揮していただく場の提供を目的に、法人本部建物を全開放し複数のワークショップの開催と餅つき、豆まきを実施する「照個屋」を 2 年実施してきました。地域の皆さんとの新たな出会いも多く、みどりの樹にとっては、地域とのつながりを広げる大変有意義な取り組みとなりました。今年度も同様に、みどりの樹も地域の一員として、皆さんとつながりを深めながら元気になる企画として、実行していきます。

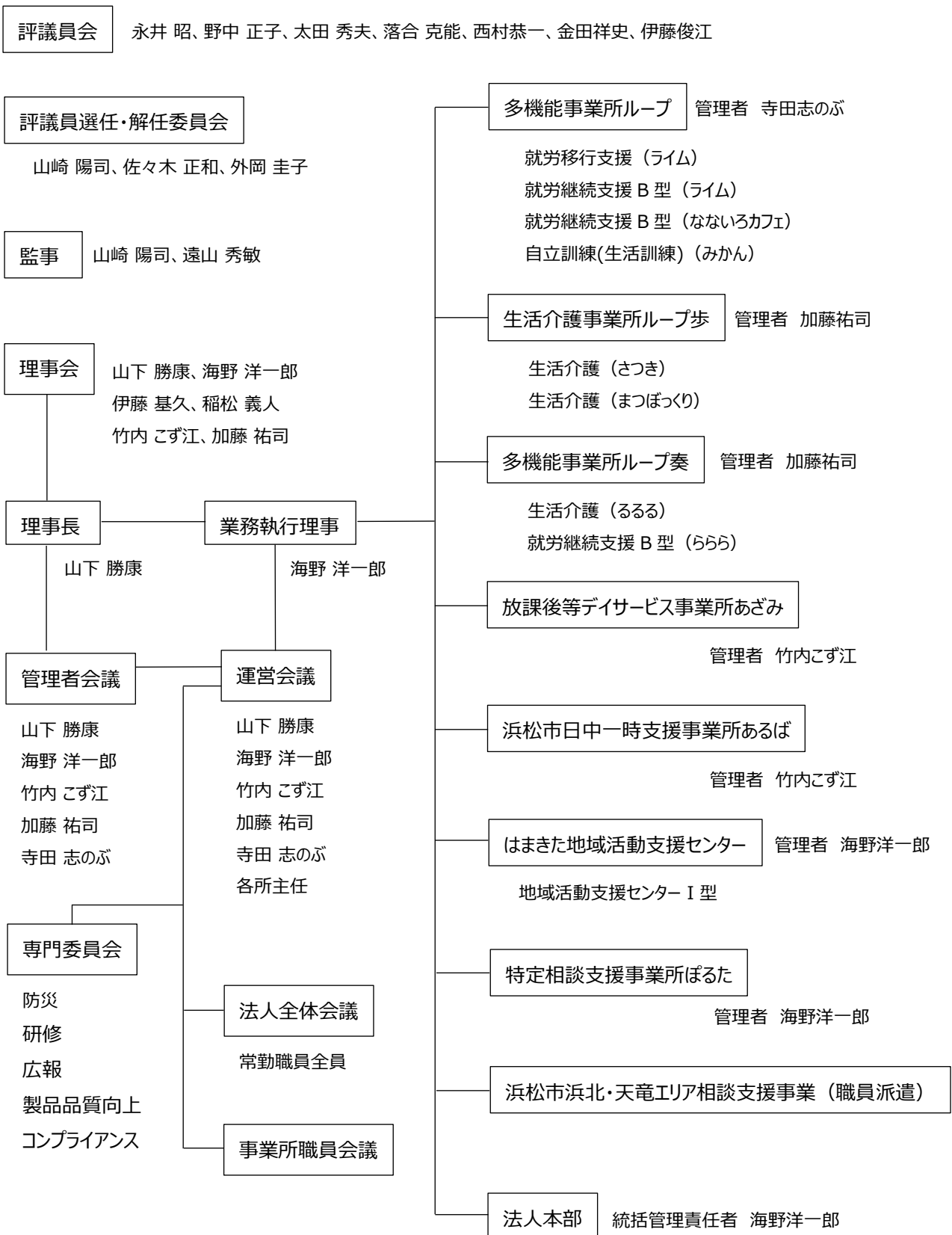
浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センターについて

令和 2 年 4 月から、これまでの浜松市障がい者相談支援事業（委託相談）の在り方が再編され、市内 5 か所（中区、東区、北区、西・南区、浜北・天竜区）のエリアで相談事業を行うことになりました。このうちの浜北・天竜エリアは、社会福祉法人天竜厚生会とみどりの樹で「浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター共同運営協議会」を組織し、「浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター」を設置、担っていくことになります。みどりの樹は協議会に職員を派遣することで、これまで行ってきた相談支援を継続して行えるようにします。

行事計画（予定）

月	対外活動（イベント参加等）	課外レクリエーション活動等	防災訓練
4	・メーデー（まつぼっくり）	・お花見（ループ歩）・避難訓練 ・保護者会（ループ歩、ループ奏） ・はじめの会（あるば・あざみ）	あざみ ループ奏
5	・はまきた飛竜まつり（法人全体） ・母親大会販売（まつぼっくり） ・ふれあいコンサート（ループ、ループ歩、ループ奏）	・電車の旅（さつき、奏るる） ・子どもの日の会（あるば・あざみ）	あざみ ループ ループ奏
6	・浜北合同スポーツ大会（ループ、ループ歩、ループ奏） ・日体祭（まつぼっくり）		あざみ ループ奏 本部
7	・友愛の里まつり（ループ歩、ループ奏） ・ヤマ発浜北夏祭り（ループ歩） ・ヤマハ豊岡夏祭り（まつぼっくり）	・七夕（各事業所） ・プールレク（さつき）	あざみ ループ歩 ループ奏
8	・浜名梱包夏祭り（まつぼっくり）	・お疲れ様会（ループ歩、ループ奏） ・プールレク（ループ奏） ・暑気払い（ループ） ・外食体験（あるば・あざみ）	あざみ ループ奏
9	・日本ロック鉄板焼大会（ループ奏） ・わ西部ふれあいレクリエーション大会 （ループ、ループ歩、ループ奏）	・まつぼっくりまつり（まつぼっくり） ・お月見会（ループ奏、あるば・あざみ） ・ハロウィン（あるば・あざみ、ループ） ・日帰り旅行（ループ）	あざみ ループ奏
10	・労福協まつり（ループ歩） ・みみの里バザー（まつぼっくり） ・天竜特支飛翔祭（まつぼっくり） ・天竜厚生会祭り(法人全体)	・収穫祭（ライム）	あざみ ループ奏 本部
11	・浜北ふれあい広場(法人全体) ・視覚特支文化祭(まつぼっくり) ・中瀬協働センターまつり（さつき） ・元気ライブ（さつき） ・ヤマハチャリティーミュージカル（ループ歩、ループ奏） ・浜北特支けやき祭（法人全体） ・北浜南部協働センターまつり（ループ奏）	・おしろこ会（さつき） ・紅葉狩り（ループ奏）	あざみ ループ ループ奏
12	・わ本人研修会（まつぼっくり）	・クリスマス会（法人合同） ・忘年会（ループ） ・お疲れ様会（ループ歩、ループ奏）	地域防災 訓練
1	・福祉ふれあいフェスタ in はままつ（まつぼっくり）	・初詣（各事業所）	あざみ ループ歩 ループ奏
2		・豆まき（各事業所） ・照個屋（法人全体）	あざみ ループ奏
3		・日帰り旅行（さつき） ・ひなまつり（あるば・あざみ） ・卒業生を送る会（あるば・あざみ）	あざみ ループ奏

法人組織図



多機能事業所ループ R2 年度 事業計画

1 就労移行支援事業（ライム）

基本方針

2 年間の有期限の中で、一般企業への就職を目指す方の職業訓練・就職活動支援・定着支援・就労後のフォローアップなどを行います。ハローワークなどをはじめ、関係機関との連携を生かし、マッチングを最重要ポイントとして取り組んでいきます。

具体的活動内容

ライム内での作業訓練を基軸に、生活リズムの安定を図りながら、あいさつ・返事・報告などから職業スキルの習得に取り組みます。特化プログラム SSP では、「自分を知ること」をキーワードにしたグループワークを通して、具体的な職業生活スキルの向上を図っていきます。就職活動に関しては、ハローワークの登録から面接まで可能な限り同行し、サポートをしていきます。また、就労後のフォローアップでは、他事業・制度を積極的に活用・連携し、現場訪問や生活支援などを丁寧に行っていきます。

R2 年度重点目標

それぞれにあったはたらき方、就労先と一緒に考えていけるよう、日々のかかわりやアセスメント、定期面談を丁寧に行っていきます。また、昨年度に引き続き、特化プログラム SSP を実施し、興味・関心を広げ、自分らしいはたらき方・はたらく場所を見つけられるよう、職場や他事業所の見学・体験を効果的に行っていきます。他に、就労後も自分らしく、自信をもってはたらき続けられるよう、アフターフォローにも力を入れていきます。

目標就職者数と目標職場定着率

目標就職者数… 2 名 目標職場定着率…100%

その他、特記事項

特化プログラム SSP は、毎週木曜日の午後に開催します。その他スケジュールは、併設の就労継続支援 B 型のスケジュールに基づきます。

2 就労継続支援 B 型事業（ライム）

基本方針

一般企業ではたらくことが困難な方が、自分らしく能力を発揮してはたらくことができるように支援していきます。生産活動を行う中では、利用者の所得保障という視点でできるだけ多くの工賃をお支払いできるような営業展開をしていきます。

具体的活動内容

（作業訓練活動）

- ・弁当の製造・販売…業務内容については例年通りに行います。時間を意識し、盛り付けや仕上がりなどを丁寧にしています。安心安全でおいしい弁当をお届けし、安定した注文が確保できるように努めます。
- ・下請作業…業務内容については例年通りに行います。納期や精度、生産数や環境整備を意識して、取引先から信頼される活動を心掛けます。

（レクリエーション活動その他）

主に土日を使って、様々な課外活動やレクリエーションを行います。また、七夕や節分など季節を感じられるような行事を活動時間内に取り入れることで、リラックスする時間とはたらく時間のメリハリをつけたり、楽しみがあるというモチベーションにつなげたりしていきます。他に、地域の皆様にもライムをより知っていただけるよう、地域のイベントなどにも積極的に参加していきます。

R2 年度重点目標

日々のかかわりを通して、利用者の“やりたい”や“がんばりたい”を引き出し、見つけていきます。『皆勤賞』の継続に加え、売上や生産数などの成果を掲示することで、はたらく喜びや達成感、やりがいを実感できるように努めます。また、昨年度とりかかり始めた『私の計画書』（支援計画書）のフォーマット見直しのほかに、工賃の算出方法の見直し・検討を行います。

その他、特記事項

なし

3 就労継続支援 B 型事業（なないろカフェ）

基本方針

一般企業ではたらくことが困難な方が、自分らしく能力を発揮してはたらくことができるように支援していきます。生産活動を行う中では、利用者の所得保障という視点でできるだけ多くの工賃をお支払いできるような営業展開をしていきます。

具体的活動内容

（作業訓練活動）

喫茶業務…なないろカフェの運営業務を例年通り行います。地域の方に親しみをもっていただけるような営業活動ができるよう心がけます。

（レクリエーション活動その他）

主に土日を使って、様々な課外活動やレクリエーションをライムと一緒に行います。また、なないろカフェ単体で、少人数だからこそできるレクリエーション活動の時間も大切にしています。

R2 年度重点目標

- ・ひとりひとりがなないろカフェで輝けるよう、それぞれにあわせた支援を行います。少人数のよさを生かし、それぞれの力が発揮できる場を作ります。
- ・SNS など情報提供ツール等を生かし、さらなる集客アップを目指します。
- ・アイドルタイムや土日・長期休暇等を利用して、学生やボランティアによるイベント等を開催し、地域交流の場を作ることで、地域における社会福祉法人の役割の一端を担います。
- ・駅前という立地条件を生かし、地域活動支援センターを利用する方が楽しめる場をこれまで以上に提供していきます。

その他、特記事項

なし

4 自立訓練（生活訓練）事業（みかん）

基本方針

「はたらく力」「生活する力」「人とつながる力」を身につけ、主体的に地域で生活が営めるようになることを目指します。

具体的活動内容

作業…施設の清掃業務や下請作業など、ひとりひとりの課題に合わせて取り組みます。

SST…就労や自立した生活に向けて必要となるコミュニケーション方法などを体験的に学習します。

訪問…自立に向けて日常生活能力・技術を向上させるため、必要に応じ訪問し相談援助を行います。

生活講座…自立した生活を営むために、そして地域の一員として活躍していくために必要な金銭管理や健康管理、その他生活技術について学習します。

調理実習…みんなで楽しく調理をしながら食への関心を高め、自立生活の一助となるよう炊事の力を身につけます。

個別支援の時間…ひとりひとりの創造性や個性を伸ばす活動や、個々の特性に合わせた活動を行います。

余暇活動…みんなで考え、話をして企画するレクリエーション活動の時間を取り入れていきます。また、地域のイベントにも積極的に参加していきます。

体感トレーニング…楽しく体を動かし、日頃のストレス解消や体の正しい動かし方について学びます。

R2 年度重点目標

利用者の様々なニーズにこたえられるように、個別支援に力を入れていきます。そのためにもひとりひとりと話をする時間を積極的に取り入れ、個人にあったプログラム内容を一緒に模索していきます。

その他、特記事項

なし

生活介護事業所ループ歩 R2 年度事業計画

1 さつき

基本方針

- ・ 本人が穏やかな気持ちで安心して過ごせることを大切にします。
- ・ 様々な場面において本人の意思を尊重した活動を行うと共に、作業や生活場面においてできる喜びを大切にしながら支援を行います。
- ・ 地域の方々にさつきのことをもっと知ってもらえることを意識して行動します。

具体的活動内容

- ・ 利用者が穏やかな気持ちで過ごせるように気になる情報についてホワイトボード等伝達方法を個々に合わせて工夫しながら伝えます。
- ・ 作業に取り組む時間が少しでも伸ばせるように作業内容や環境を配慮します。
- ・ 利用者が主体的に様々な役割を担える場を増やし、個々の得意なことを活かしていきます。
- ・ 家族と特に健康状態について情報を共有する為に連絡ノートや自宅送迎時の時間を活用して密に連絡を取り合える環境を作ります。
- ・ ボランティアさんによる音楽レクの時間が利用者に大変好評な為、継続してお願いしていきます。

R2 年度重点目標

- ・ 個々の行動特性を再確認し、本人に合った支援方法の見直しを行い、職員間で統一した支援を行います。
- ・ 利用者の可能性を広げつつ、本人の意思を確認しながら継続して作業に取り組めるように支援を行います。
- ・ 職員一人ひとりが事故や怪我を未然に防ぐための環境整備・必要な声掛け等を常に意識して行動します。
- ・ 地域の方々に今以上にさつきのことを知ってもらう為に販売・ポスティング・清掃活動に力を入れます。
- ・ レクの時間に新しいチャレンジを取り入れ、さらなる充実を図ります。

その他、特記事項

なし

2 まつぼっくり

基本方針

- ・利用者がパン・焼き菓子の製造販売を通して、はたらく喜びを感じられることを大切にします。
- ・1日を通して様々な生活場面に応じた支援を継続的に行います。
- ・利用者の想いを受け止め、毎日気持ちよく通える雰囲気づくりをします。

具体的活動内容

- ・パン・焼き菓子の製造販売において、利用者が最大限に力を発揮できるように利用者が担う作業工程を確保します。
- ・売上アップを図る為に販売先の新規開拓や新商品を開発します。
- ・交替で行う当番制の昼食準備や片付け、トイレ掃除、配達等日々の活動や家庭での様子を家族と情報共有しながら個々に応じた必要な生活支援を行います。
- ・はたらくことだけではなく季節の行事に関する活動やイベント参加も積極的に行うとともに、利用者同士や職員とのコミュニケーションの時間も大切にしていきます。
- ・毎月実施している体重・血圧測定を継続し、数値の変動を家族に報告しながら体調の変化に留意します。

R2 年度重点目標

- ・利用者の発信を受け止められる姿勢を持ち、コミュニケーション技術の向上に努めコミュニケーション保障と情報保障に努めます。
- ・作業面・生活面共に日々振り返りを行い、職員間で統一した支援を行います。
- ・現在の工賃水準を維持する為に売上を伸ばすことに重点的に取り組みます。
- ・利用者増加により変化した作業環境や役割を見直します。

その他、特記事項

なし

多機能事業所ループ奏 R2 年度事業計画

1 生活介護事業（るるる）

基本方針

- ・ 本人が日々の生活を楽しく穏やかに過ごせるように支援していきます。
- ・ 奏に通う意味を見出し、一人ひとりが充実した時間を過ごせるように活動していきます。
- ・ 地域で活動するうえでのつながりを築いていきます。

具体的活動内容

- ・ 仲間と楽しむ時間とリフレッシュを兼ねて、日々の活動にレクリエーションを組み込みます。
- ・ 作業に自ら取り組み達成感や喜びを感じられるように個々に合わせた作業内容と環境を整えます。
- ・ 定期的に近隣の清掃活動に取り組んでいきます。

R2 年度重点目標

- ・ 活動や作業を通して日々の生活が充実できるように 1 日のプログラムを作っていきます。
- ・ 生活面で自分の力でできることが増えるように支援していきます。
- ・ 地域に出て活動していくことにより、奏の認知度を高めていきます。

その他、特記事項

なし

2 就労継続支援 B 型事業（ららら）

基本方針

- ・ はたらく中で本人の良いところを伸ばせるように支援していきます。
- ・ 本人の生活力が身につくように個々の生活面の課題に取り組んでいきます。
- ・ 地域で活動するうえでのつながりを築いていきます。

具体的活動内容

- ・ 様々な作業を提供し、継続して取り組むことで自身の作業力を高めていきます。
- ・ 他事業所と協力し、様々なプログラムに参加することで自身の持っている力・得意なことの向上につなげていきます。
- ・ 調理や掃除、洗濯等の生活力が身につくプログラムを取り入れていきます。
- ・ 定期的に近隣の清掃活動に取り組んでいきます。

R2 年度重点目標

- ・ 作業面、生活面での個々の課題を明確化し、本人に合ったペースでステップアップしていくことを目指します。
- ・ 地域に出て活動していくことにより、奏の認知度を高めていきます。

その他、特記事項

なし

放課後等デイサービス事業所あざみ R2 年度事業計画

基本方針

学校・家庭とは違う時間・空間・人・活動を通じて安心、楽しさを味わってもらえる様、一人ひとりの子どもの状況に応じた支援を行います。家庭や学校など関連機関と連携して成長を見守りお手伝いをしていきます。

具体的活動内容

遊びを楽しむ・・・自分が選んだ活動の中で、友達と一緒に過ごす楽しさ、人と関わる事に関心を持つ、コミュニケーションをとる楽しさが経験できるように活動していきます。

活動中に生じる他者とのトラブルは、自分の想いを伝える、他者との折り合いをつける力のつく場面と捉え、どう行動したら良いかを支援者と一緒に考えとりくんでいきます。

季節の変化を楽しむ・・・季節行事や散歩を通じて自然の変化を楽しみ、それを題材にした製作を楽しみます

季節行事を楽しみながら、家族や周りの人たちとの繋がりを深めて行きます。

集まりを楽しむ・・・朝の会、帰りの会で自分の想いや頑張った事を発表し、自信につながるよう見守ります。

できるように・・・低学年の利用者には日常生活の基本動作の習得ができるように支援していきます。

お手伝い、外食、外出、買い物を楽しみます。法人内の行事、地域イベントに参加

R2 年度重点目標

活動プログラムの充実 外遊びの小グループ活動を増やしていき、体を使った遊びの面白さや、友達と遊ぶ事の楽しさを味わいながら、ルールの理解も、できるように工夫していきます。

子どもが好きな遊びや、リラックスするための活動を、自分で選んで取り組む事ができるように多彩なプログラムを作り、ゆったりとした雰囲気の中で行えるよう取り組んでいきます。

日常生活の基本動作の習得においては、家庭、学校との情報を共有し、一人ひとりの生活リズムを検討、習得がゆっくりと、できるように支援していきます。

その他、特記事項

職員みんなで、子どもたちの今持っている力、育とうとしている芽を大切に、目をかけ、気かけを合言葉にがんばります。

日中一時支援事業所あるば R2 年度事業計画

基本方針

子どもにとって楽しい場所である、家族にとって安心できる施設であることを目指して行きます。

具体的活動内容

遊びを楽しむ・・・自分の選んだ活動の中で友達と一緒に過ごす楽しさや、人と関わる事に関心を持つ、コミュニケーションをとる楽しさが経験できるように活動していきます。

季節の変化を楽しむ・・・季節行事や散歩を通じて自然の変化を楽しみ、それを題材にした製作を楽しみます。

季節行事を楽しみながら、家族や周りの人との繋がりを深めていきます。

集まりを楽しむ・・・朝の会、帰りの会で自分の想いや、頑張りを発表し、自信につながるよう見守ります。

できるように・・・排泄、食事など介助が必要な子どもには、楽しく動作ができるように、また習得ができるように支援します。

お手伝い、外食、外出、買い物を楽しみます。法人行事、地域イベントに参加します。

利用中の様子をご家族にお伝えし、問題があれば話し合いを持ち支援に反映していきます。

R2 年度重点目標

外遊びの小グループ活動を増やしていき、体を使った遊びの面白さや、友達と遊ぶことの楽しさを味わいながらルールを理解も、できるように工夫していきます。

子どもが好きな遊びや、リラックスするための活動を、自分で選んで取り組むことが出来るように多彩なプログラムを作り、ゆったりとした雰囲気の中で活動できるように取り組んでいきます。

日常生活の基本動作の習得については、家庭、学校と情報を共有し、一人ひとりの生活リズムを検討し、習得がゆっくりとできるように支援していきます。

その他、特記事項

職員みんなが、子どもたちが今持っている力、育とうとしている芽を大切に、目をかけ、気をかけを合言葉に頑張ります。

はまきた地域活動支援センター R2 年度事業計画

基本方針

利用される皆さんが、仲間との出会いを通して自分自身を知り、自分が持っている力を発揮しながら、地域での暮らしを豊かにしていくお手伝いをします

具体的活動内容

開催日程	活動内容	開催場所
月 1 回	* 地活ミーティング ①③ * ちくちくクラブ（手芸・クラフト） ①② * 朗読カフェ ① * メイク&ハンドマッサージ ① * のびのび会 ① * 食事会 ①②	なないろカフェ
	* グルメ探検・おでかけ ①② * イエローレシート PR ①② * 青春倶楽部おでかけ（シニア世代を中心） ①	外出
	* あざみと誕生会 ①③	本部
月 2 回	* カラオケ ① * 音楽クラブ・TV ゲーム大会 ① * 卓球 ①	本部
	* ゲーム会 ① * パソコン教室 ①② * 昼下がりのいっぶく（シニア世代を中心とした集い） ①③	なないろカフェ
週 1 回	* いっぶく ①②	なないろカフェ
不定期	* 地域行事参加 ②③ * 法人他事業所活動参加 ②③ * やってみよう会 ①②③	適宜

① 日常生活支援事業

「利用者主体」「気持ちよく過ごせる場所」をモットーに、日々の生活に充実感を得られるように、課題や希望に対して関係機関と連携して支援を行います。休日の過ごし方や余暇の楽しみ方等日々の生活に張り合いを作れるよう、出来る限り多くの方に興味を持ってもらえるような内容を吟味しながら新規のプログラムを定期的に立ち上げていきます。利用者同士の意見交換の機会を持ち、自らもイベントの企画・実行をしていけることも大切にします。

② 地域交流活動

地域の方々との交流、ボランティアとの連携を通じて、障がい者福祉に関する啓発を行います。また当事者発表の場や講演活動にも積極的に取り組んでいきます。

③ ネットワーク作り

当事者活動の支援、または関係機関との連携を深めていくことを意識していきます。

R2 年度重点目標

利用される方々の「やってみたい！」という気持ちを大事にし、主体性をはぐくみながらできるだけ実行に移していき、効果をみながら定例化していきます。

令和 1 年度は、年配の方向けの企画を定期的におこないましたが、対象となる方々の中には心待ちにされている方もいらっしゃるようで、意義を実感しています。今年度も定例開催で継続して企画をしていきます。

地域の方々の力を借りながら、活動を盛り上げていきたいと思います。ボランティアの協力依頼を積極的に発信していきます。

その他、特記事項

活動場所として、これまで本部建物を拠点に行ってきましたが、利用者（およびボランティア）の利便性と実績（なないろカフェで行ういっぷくへの参加者が毎回多い）を鑑み、活動のいくつかをなないろカフェに場所を移し、集いの場の充実を図ります。なないろカフェのアイドルタイムを有効活用し、より使いやすいサービスを目指していきます。

特定相談支援事業所ぽるた R2 年度事業計画

基本方針

ひとりひとりの想いに寄り添い、その実現に向けていっしょに考え、いっしょに歩んでいくことを大切にします。また、場面に応じてソーシャルアクションを起こしていきます。

具体的活動内容

個々の相談を受けながら、サービス等利用計画書の作成・モニタリング等、計画相談のシステムに基づいて行います。

- ・基本相談
- ・サービス利用支援
- ・継続サービス利用支援
- ・サービス担当者会議

R2 年度重点目標

- ・モバイル PC の導入など、IT も積極的に活用して、支援の質を落とさずにひとつひとつの業務の効率化を目指します。計画相談の仕組みに則った中で、ぽるたとして現状の実務をよりシステムチックに行えるよう進め方の基準を整理し、確立させていきます。
- ・長期にわたるかかわりの中では、当然、当初のアセスメントから内容が変化していくことがあります。本人のニーズを正確に把握し続け、それに基づいたかかわりを継続していくために、随時アセスメントのメンテナンスを行っていくことを心がけます。
- ・顔の見える関係づくりを意識して、従来の関係機関だけでなく介護保険サービスや民生委員をはじめとした地域とのつながりをより強固にしていけるようにします。

その他、特記事項

なし